

## 「歴史ウォーキング」に参加して

10月23日(日)の「歴史ウォーキング」は前夜の雨で心配でしたが、秋晴れのもと新たな知識を得られた楽しい時間を過ごすことができました。

今回は、小谷城跡から長浜散策コース(12名)と長浜散策コース(6名)の2班に分かれました。

私は、長浜散策コースで、佐々木悦子さん(高9)・清水良子さん(高9)・田中英明さん(高9)・宮原琢郎さん(北2)・古川幸孝さん(北2)の6名が長浜駅に集合し、長浜観光ボランティアガイド協会の岩越さんの案内で駅周辺と長浜城を散策しました。

その後小谷城跡から長浜散策コース(12名)の方と合流し、市内の北国街道の戦災にあってない古風豊かな家屋が並ぶ土産物屋やお寺を散策しました。

それにしても、お寺の多い町でした。ガイドの岩越さんによると、一つお寺の檀家は20~30軒だそうです。そのためお寺の修繕などでは、檀家は大変とのことでした。

私たち6名が行った長浜城(24万石)は、秀吉が初めて城主になったことから、出世城とも言われているそうです。また、長浜は、秀吉が町づくりに熱心で当時大きく繁栄し、今でも秀吉のファンが多いと聞きました。そんなところからマンホールの絵柄は、「ひょうたん」になっているとのことでした。



ところで、明治時代に鉄道が出来た時の東海道線は、東京から長浜まであったことを、皆さん後存知でしたか？ 私は知りませんでした。当時東京方面から大阪方面へは、長浜で、船に乗り換え大津まで行き、大津から鉄道に乗り換えていたそうです。旧長浜駅が資料館として残っており、船の

待合室がそのまま再現されていました。因みに、旧長浜駅の向かいの慶雲館は、明治天皇が京都に幸行され、帰りの祭、長浜で船を降り、休憩されたところだそうです。また中国方面との交易のため北陸線は長浜駅を始発として建設されていたそうです。



当時は、人・物の往来も多く、町は大いに反映していたようです。余談ですが、当時の駅長は、資格が高く次の任地は、東京駅長か横浜駅長

だったそうです。

今のような東海道線は、米原駅を新たに作って長浜を通らないで大津に繋がるようになってからだそうです。東海道線が通らなくなり、農業以外にこれといった産業がないことから、長浜市は大きく発展しなくなったようです。

今回の「歴史ウォーキング」は、私にとって新たな発見の旅でありました。

同行いただいた先輩のみなさんありがとうございました。 【梅木 隆志(北4)】